

<b>事務事業名</b>	<b>子ども家庭支援センター管理運営事業</b>
--------------	--------------------------

### 1 事業計画・評価

H26年度実績 (Do)	H26年度評価 (Check)	評価内容
▼交流ひろば利用者 延141,827人 ▼一時預かり (リフレッシュ保育) 利用者 延1,852人 ▼子育て支援ボランティア養成講座の開催 2回、各種子育て講座等の開催 交流会 3種26日間、講座4種7日間 ▼しらとりひろば利用者 延5,283人、ノーバディーズパーフェクト参加者 延92人		「たっち」「しらとり」でひろばの利用促進を図るとともに、子育てに関する交流会や講座等を開催した。 子育て支援の拠点施設として、利用者が安心・安全に施設を使えるよう、施設の一部改修や修繕等適切な施設管理及び運営を行った。

新規・レベルアップ   
  継続   
  見直し   
  廃止   
 H26年度評価に基づく見直し (Action)

H27年度の具体的な取組 (Plan)	H27年度の方向性 (Plan)
▼交流ひろばの実施 ▼一時預かり (リフレッシュ保育) の実施 ▼子育て支援ボランティア養成講座の実施 ▼各種子育て講座等の実施 ▼しらとりひろばの実施	子育て支援の拠点施設として、現行どおりの取組を継続して実施する。

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容
▼交流ひろば利用者 延144,172人 ▼一時預かり (リフレッシュ保育) 利用者 延2,118人 ▼子育て支援ボランティア養成講座の開催 3回、各種子育て講座等の開催 交流会2種26日間、講座4種7日間 ▼しらとりひろば利用者 延8,435人、ノーバディーズパーフェクト参加者 延82人		「たっち」「しらとり」でひろばの利用促進を図るため、広報、ホームページ及び民間の情報紙 (誌) 等を通じてPRを行った。また、毎年好評を得ている子育てに関する交流会や講座等を継続して開催した。 子育て支援の拠点施設として、利用者が安心・安全に施設を使えるよう、施設の一部改修や修繕等適切な施設管理及び運営を行った。

新規・レベルアップ   
  継続   
  見直し   
  廃止   
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の方向性 (Plan)	H28年度の具体的な取組 (Plan)
子育て支援の拠点施設として、現行どおりの取組を継続して実施すると共に、利用者のニーズを的確に把握し、事業に反映させる。 開設後10年が経過し、施設の老朽化及び機器の劣化等が進んでいるため、施設が継続的に安全・快適に利用できるよう、必要な措置を講ずる。	子育て支援の拠点施設として、現行どおりの取組を継続して実施すると共に、利用者のニーズを的確に把握し、事業に反映させる。 開設後10年が経過し、施設の老朽化及び機器の劣化等が進んでいるため、施設が継続的に安全・快適に利用できるよう、必要な措置を講ずる。

平成29年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	各事業の利用に関する施設の保全や然るべき修繕等、適切な施設管理及び運営を行う。また、施設が安全・快適に利用できるよう、利用者のニーズを的確に捉え、子育て支援の拠点施設として、現行の取組を継続して実施する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

### 2 指標実績の推移・現状分析

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

### 3 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
子ども家庭支援センターで一時預かりや交流ひろば、各種子育て講座等を実施するとともに、子育て支援ボランティア養成講座及びステップアップ講座を実施してボランティア活動の普及啓発等を促した。子ども家庭支援センター「たっち」を利用する親子同士の交流を目的とした「ひろばでタッチ」を実施する等、より親子が楽しめるイベントを開催した。また、災害に備え、毎月の防災訓練の中に利用者参加型の訓練を取り入れて、防災意識の向上を促した。また、子ども家庭支援センター「たっち」の情報コーナーに手洗い場を設置し、多目的室の畳を張り替える等、開設10年を向かえ経年劣化した箇所についても修繕を行うなど適切に対応した。

今後の課題・展開 (未達成の課題・具体的な方策等)
ひろばの利用者がより安全に楽しく利用できるよう、各講座の内容を更に充実させると共に、子育て情報の提供や利用者相互の交流を図れるよう工夫する。また、開設10年が経過し、経年劣化した箇所などが増加してきているため、適切な修繕等を行っていく必要がある。